

次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業における事業計画書
岐阜市立 陽南中学校

研究内容	
1 年 次 平 成 十 三 年 度	<p><環境づくり>まずは職員生徒が「使える」ことをめざす。</p> <p>教師：LANを利用した文書データのやりとり(情報部の立ち上げ) 　　：利用のための環境整備（機器の配置・周辺機器の利用方法の校内研修の実施 [保健室の出欠・図書室の貸し出し・学級日誌など]) 　　：利用する際の約束づくり 　　：セキュリティに対する研修</p> <p>生徒：LANを使うための基礎的なリテラシーづくり 　　：学級日誌・出欠確認・図書の貸し出しを利用しながら覚える。 　　：利用の約束を理解する。</p>
2 年 次 平 成 十 四 年 度	<p><挑戦と開発> 1年目の取り組みを継続しながら…</p> <ul style="list-style-type: none"> * 教育活動で活用することに挑戦 <ul style="list-style-type: none"> そのための教材の開発と指導計画指導方法の研究 ・教科…インターネットの利用（情報収集・検索） 　　サーバー内に保存してある資料提示や情報発信 ・道徳…読み物資料に代わるものや画像や動画データの提示 ・特別活動…生徒会活動、生徒へのアンケート、野外活動事前調査（メールを利用して） 　　TV放送に代わる生徒会からの情報発信（双方向性を生かして） ・とびら（総合学習）…インターネットの利用、パワーポイントを利用した発表など、TV会議システムを使った他校との交流など <p>とにかく挑戦し、開発したものを情報部や研推で蓄積していく。生徒にも積極的に使わせていく。開発は教師だけでなく、生徒やSEも活用していきたい。</p>
3 年 次 平 成 十 五 年 度	<p><まとめと推進> 2年目の取り組みを振り返って、中学校教育全体の中で、コンピュータやネットワークを「道具」として当たり前に使いこなす姿をめざす。</p> <p>2年目までに開発されたものを精選し、本当に必要な場面で最も有効な形で使うことを考える。</p> <p><精選の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCやネットワークを使う方がよいのか、それとも他の方法の方がふさわしいのか。（わかる、できる授業になったか？） ・利用することに価値があっても、その準備のための労力はそれにふさわしいか。 <p>常に学校教育の本質に関わる視点から見つめたい。使うことが目的ではなく、使うことによって子供たちの「生きる力」を育む教育をめざしていることは忘れずに取り組んでいきたい。</p>